

省エネ外壁用遮熱塗料

2液弱溶剤シリコン樹脂塗料

パラサーモハコ外壁用

COLOR SAMPLE

【改訂第2版】

信頼と実績を誇る遮熱技術に
高耐候性、高光沢をプラス。
さらに弱溶剤シリコン樹脂の特長を生かした
多機能遮熱・省エネ塗料です。



特長

1 優れた遮熱性・省エネ効果を発揮します。

太陽光に対する反射率の高い着色顔料と熱放射性に優れたセラミックに、当社独自の技術によりシリコン樹脂を融合。各種壁材に塗装することにより、室内への熱の侵入を遮断し、室内の温度上昇を抑えることができます。エアコンなどの空調設備の省エネ効果に抜群の性能を発揮します。

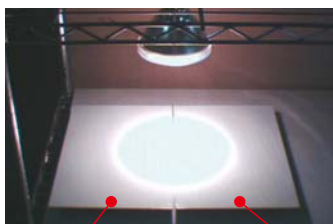
●**ご注意**：遮熱（温度低減）効果は色相により異なります。塗装する色相と既存塗膜の色相の兼ね合いにより、遮熱（温度低減）効果が充分に発揮されないケース（塗装する色相が既存塗膜より濃色の場合など）もございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。

●遮熱データ

（赤外線カメラ：日本アビオニクス(株)製TVS-200にて測定）

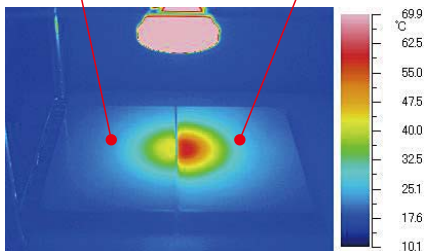
基材：厚さ3mm スレート板 300Wレフランプ照射
塗板との距離：25cm

●レフランプ照射遮熱試験風景



パラサーモシリコン外壁用塗装面 一般アクリルシリコン樹脂塗料外壁用塗装面

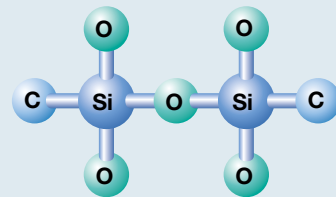
●塗装面の温度分布



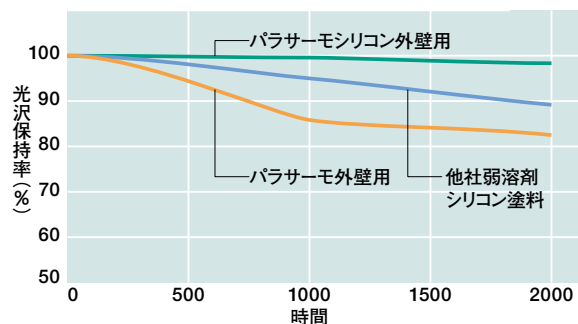
2 抜群の耐久性能を発揮します。

従来のシリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料と比較して抜群の耐候性を誇り、美観を長期間維持します。

強力なシリコン樹脂の結合で
抜群な耐久性能が生まれます。



●促進耐候性データ (サンシャインウェザーメーター)



3 高光沢な色彩で外壁を美しく彩ります。

弱溶剤可溶シリコン樹脂が、クリアー感のある平滑な塗膜を形成。光沢のある外観を実現します。また、色彩も豊富にラインアップ。お好みのカラーで外壁を彩ります（艶あり、5分艶、3分艶の調整が可能です）。

標準色

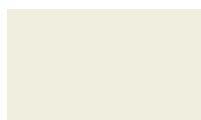
●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



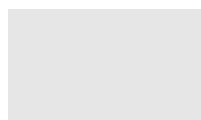
▲R-804P



▲R-805P



▲R-806P



▲R-807P



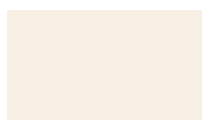
▲R-808P



▲R-814P



▲R-815P



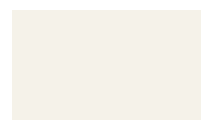
▲R-818P



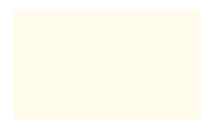
▲R-819P



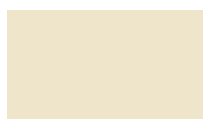
▲R-820P



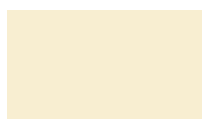
▲R-821P



▲R-822P



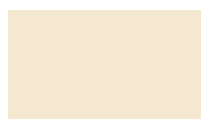
▲R-828P



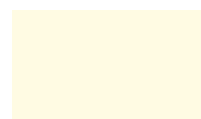
▲R-829P



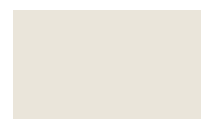
▲R-834P



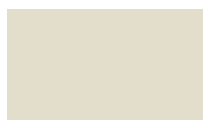
▲R-839P



▲R-840P



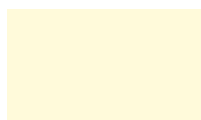
▲R-841P



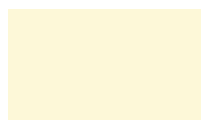
▲R-843P



▲R-845P



▲R-847P



▲R-849P

●パラサーモシリコン外壁用は特殊な顔料を使用しており、膜厚や標準以上の希釈量では色目が少し変わります。ご注意ください。

●色相により、遮熱効果が異なりますのでご注意ください。

●本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳をお願いします。

用途

- コンクリート、モルタル、金属面
- スレート板、窯業建材サイディングボード、無機系ボード
- PC板、コンクリートパネル等
- 硬質複層仕上げ塗材のトップコート
- 改修工事のトップコート

荷姿

製品名	色	荷姿
パラサーモシリコン外壁用	各色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)
エポラ浸透遮熱プライマー	淡グリーン	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)
エポラ塗替遮熱プライマー	淡ブルー	16kgセット(A液:14.4kg B液:1.6kg)
シルビアサーフ	白	16kg
エポラ#2遮熱プライマー	淡ブルー	16kgセット(A液:14.4kg B液:1.6kg)
エポラ#3プライマー	白、赤サビ	16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)
	白	1.1kgセット(A液:1kg B液:0.1kg)

※プライマーは上記のもの以外に、コンクリート、モルタルなどにはエポラワイドプライマー グレー、エポラマイルドプライマーSが、一般鉄部にはエポラ#1プライマー、エポラ#1遮熱プライマー、エポラ#2プライマーが使用可能です。

塗装仕様

改修塗装仕様

●改修仕様①(下地の吸い込みが大きい場合)

工程	回数	材料の調合(重量比)	施工方法	可使時間	使用量	セット当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整		●ゴミや未硬化セメント粉末、砂塵、油分などの付着物は除去し、乾燥した清浄な面(含水率10%以下、pH10以下)にしてください。 ●不陸、目違いなどは補修・調整してください。					
下塗	1回	●エポラ浸透遮熱プライマー A液 14kg ● " " B液 2kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.15~0.3 kg/m ² /回	53~106 m ² /セット/回	2時間以上 72時間以内 (23℃)
上塗	2回	●パラサーモシリコン外壁用 A液 14kg ● " " B液 2kg ●塗料用シンナーA 0~2kg※ ※ローラー、刷毛塗装:0~1kg、スプレー塗装:0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/m ² /回	106~133 m ² /セット/回	2時間以上 (23℃)

※吸い込みが著しい下地の場合、下塗を増し塗りしてください。最大0.5kg/m²を目安としてください。

●改修仕様②(一般改修の場合)

工程	回数	材料の調合(重量比)	施工方法	可使時間	使用量	セット当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整		●浮いた既存塗膜、被塗面の表面の塵やホコリ、かび、藻類は高圧水洗(10~15MPa)などにより完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。 ●不陸、目違いなどは補修・調整してください。					
下塗	1回	●エポラ塗替遮熱プライマー A液 14.4kg ● " " B液 1.6kg ●塗料用シンナーA 0~2.4kg※ ※ローラー、刷毛塗装:0~1.6kg、スプレー塗装:0~2.4kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.13~0.16 kg/m ² /回	100~123 m ² /セット/回	12時間以上 72時間以内 (23℃)
上塗	2回	●パラサーモシリコン外壁用 A液 14kg ● " " B液 2kg ●塗料用シンナーA 0~2kg※ ※ローラー、刷毛塗装:0~1kg、スプレー塗装:0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/m ² /回	106~133 m ² /セット/回	2時間以上 (23℃)

●改修仕様③(微弾性フィラーの場合)

工程	回数	材料の調合(重量比)	施工方法	可使時間	使用量	セット当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整		●浮いた既存塗膜、被塗面の表面の塵やホコリ、かび、藻類は高圧水洗(10~15MPa)などにより完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。 ●不陸、目違いなどは補修・調整してください。					
下塗	1回	●シルビアサーフ 16kg ●水 0~0.6kg	●砂骨ローラー ●ウールローラー	—	0.5~1.5 kg/m ² /回	10~32 m ² /セット/回	16時間以上 72時間以内 (23℃)
上塗	2回	●パラサーモシリコン外壁用 A液 14kg ● " " B液 2kg ●塗料用シンナーA 0~2kg※ ※ローラー、刷毛塗装:0~1kg、スプレー塗装:0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/m ² /回	106~133 m ² /セット/回	2時間以上 (23℃)

※シルビアサーフをコンクリート、モルタル面に塗装する場合は「NT水性カチオンプライマー」を使用してください。 ※シルビアサーフの塗布量が少ないとリフティング原因になります。

●改修仕様④(一般鉄部の場合)

工程	回数	材料の調合(重量比)	施工方法	可使時間	使用量	セット当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整		●フクレや割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵やホコリ、かび、藻類は高圧水洗(10~15MPa)などにより完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。					
下塗	1回	●エポラ#2遮熱プライマー A液 14.4kg ● " " B液 1.6kg ●塗料用シンナーA 0~2.4kg※ ※ローラー、刷毛塗装:0~1.6kg、スプレー塗装:0~2.4kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.13~0.16 kg/m ² /回	100~123 m ² /セット/回	12時間以上 72時間以内 (23℃)
上塗	2回	●パラサーモシリコン外壁用 A液 14kg ● " " B液 2kg ●塗料用シンナーA 0~2kg※ ※ローラー、刷毛塗装:0~1kg、スプレー塗装:0~2kg	●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレー	6時間以内 (23℃)	0.12~0.15 kg/m ² /回	106~133 m ² /セット/回	2時間以上 (23℃)

※サビの研磨部分や鉄部が露出している部分は「エポラ#2遮熱プライマー」で補修塗りしてください。 ※下地が非鉄金属の場合は下塗に「エポラ#3プライマー」を使用してください。

試験成績

試験項目	試験方法	試験結果
光沢	60度 鏡面反射率 ガラス板上	85以上
硬度	鉛筆硬度	HB
初期付着性	JIS K 5600 クロスカット法 5mm間隔25マス	25/25
耐水性	水道水 7日間浸漬	異常なし
	水道水 7日間浸漬後 クロスカット法 5mm間隔25マス	25/25
耐温水性	60℃温水 7日間浸漬	異常なし
	60℃温水 7日間浸漬後 クロスカット法 5mm間隔25マス	25/25
耐酸性	5%硫酸水溶液 7日間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム水溶液 7日間浸漬	異常なし
温冷繰り返し試験	JIS A 6909 複層仕上塗材 10サイクル	異常なし
凍結融解試験	自社試験法 水中浸漬にて試験 -20℃×4時間→20℃×4時間 200サイクル	異常なし
促進耐候性	サンシャインウェザーメーター 2000時間	異常なし
屋外暴露	南面30° 暴露試験2年	異常なし

施工上の注意事項

●素地調整について

- ①粗面やALC面、多孔質下地等、下地面に問題がある場合は「NTカチオンフィラー」などを使用し、下地調整を行なってください。
- ②高圧水洗やエアレススプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止の養生を行なってください。
- ③高圧水洗ができない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、塵やホコリ、かび、藻類を完全に除去してください。

●塗料と塗装について

- ①仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより多少の幅を生じることがあります。
- ②外壁表面を水洗いした後や雨、露、霜で濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。
- ③降雨、降雪が予想される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上の塗装は避けてください。
- ④塗料は必ず規定配合比で調合し、十分に攪拌後 施工してください。他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- ⑤塗料用シンナーAは規定量以上は絶対に入れないでください。色相が変わったり、艶が出ない場合があります。
- ⑥塗料を小分けして使用する場合はA液を十分に攪拌し、均一な状態にしてから計量してください。色ムラなどの要因となります。
- ⑦塗料の使用量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ⑧材料の保管は直射日光を避け、雨露の当たらない冷暗所に保管してください。
- ⑨シーリング面への塗装は極力避けてください。塗膜の汚れやワレの要因となります。
- ⑩塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差がでることがあります。とくに補修塗りを行なう際、ローラー塗りと刷毛塗りが混在しますので、その場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行ない、目立ちにくくなるように塗装してください。
- ⑪気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。

- ⑫規定の塗布量が塗られていない場合、塗膜性能が発揮されない場合がありますので標準塗布量を守って塗装してください。
- ⑬素地の状態は含水率10%以下、pH10以下としてください。
- ⑭シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行なってください。
- ⑮塗り替え塗装で既存塗膜が弾性スタック、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに膨れている、また既存塗膜表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと膨れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発泡ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。
- ⑯塗装器具は使用後速やかにラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ⑰塗料の希釈(シルビアサーフ以外)は「塗料用シンナーA」をご使用ください。シンナーの種類によっては粘度低下が激しくなったり、本来の色や艶がでない場合があります。また、過剰希釈しますと隠蔽不足や色艶の低下、外観不良などの要因となります。
- ⑱本塗料およびシンナーはすべて引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は、火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないように注意してください。
- ⑲塗装色より既存塗膜の色が薄い場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもありますのでご注意ください。また、色相により遮熱効果が変わります。
- ⑳下地が無塗装ガルバニウム鋼板の場合は「エポラ#3プライマー」を使用してください。ガルバニウム鋼板は素材自体が高い遮熱性能をもっていますので、上塗は特に明度の高い色(白安として日本塗料工業会標準色見本ではN-80より薄い色)を塗装してください。
- ㉑外壁の他に屋根、窓ガラスにも遮熱塗料を塗装することをお奨めします。よりいっそうの省エネ効果が得られます。
 - 屋根用遮熱塗料：「パラサーモシリコン」「パラサーモシールド」「パラサーモ」「水性パラサーモ」「水性ルーフセラ遮熱」
 - 窓ガラス用遮熱塗料：「NTサーモバランス」(ニットク・アメニティシステム連合会専用商品です)

「パラサーモシリコン外壁用」の取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

■代理店

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>

PSGCS-0315JX1.5-DS/PNO/CN#2[2015年3月作成]定価600円(税抜き)